

松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）（素案）に対するご意見の内容と回答

番号	意見内容		回 答
1	現在の計画の 分析・評価に ついて	施策の反省・分析が重要であり、施策の分析と評価がないのはいかがなものか。	<p>【町の考え方】</p> <p>松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策・事業の評価については、松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会に報告し、審議をいただきました。審議会にていただいたご意見を松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）の策定に反映しています。</p>
2	人口の転出超 過について	人口がなぜ転出超過になるのか？ 町に魅力がない事が理由と思われるが。	<p>【松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）（案）への対応】</p> <p>原案通りとします。</p> <p>【町の考え方】</p> <p>社会増減の状況を年齢階級別に示す年齢階級別純移動数の時系列推移によれば、20歳代の転出超過の増加、及び、30～44歳の転入超過から転出超過への変化と0～4歳の転入超過の減少が見られ、ファミリー世帯の転入が減少したことがうかがわれます。</p> <p>本戦略では、これらの人口減少を抑制するために、20歳代の転出の抑制と、ファミリー世帯の転入・定住の促進のための施策・事業を推進することとしています。</p> <p>町の魅力づくりについては、「基本目標 2 町や人がつながる魅力づくり」を掲げ推進します。</p>

番号	意見内容		回 答
3	公共交通網と地域の関係について	『首都圏でありながら、公共交通網から取り残された地域』と認識することで戦略を考えるべき。	<p>【松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）（案）への対応】 原案通りとします。</p> <p>【町の考え方】 本町の公共交通網については、町も町民意識調査の結果で公共交通が不便との意見が多かったことを認識しております。 本戦略の事業の「地域公共交通促進事業」などにより、住民との検討会議で意見交換を行い、課題解決に向けて、取り組みを進めていきます。</p>
4	先進的プロモーションとの用語の使い方について	先進的プロモーションの言葉遣いはいかがなものか。	<p>【松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）（案）への対応】 ご意見を反映いたします。</p> <p>【町の考え方】 現在、各市町がICTの活用（※）等でそれぞれの魅力の発信を行っています。本町でもこれまでのシティプロモーションの取り組みを更に強化するという意味として、「先進的プロモーションによる魅力の発信」を「シティプロモーションによる更なる魅力の発信」と変更いたします。</p>

※ ホームページや、電子メール、SNSとしてツイッター、フェイスブックなどの活用。

番号	意見内容		回 答
5	短期的に実現可能性のない施策の取り扱いについて	魅力にあふれ子育てしたくなるまちや、鉄道誘致とか短期的に可能性のないことを施策にはできないと考えるべきです。本町の状況を冷静に分析し打てる施策を確実に実行に移してゆくべきだ。	<p>【松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）（案）への対応】 原案通りとします。</p> <p>【町の考え方】 長期的な展望を示す「人口ビジョン」、急務である人口減少などへの対応に焦点を当てた短期的な戦略を示す「総合戦略」、短中期的な期間で総合的な町の取り組みを示す「総合振興計画」によって、自立した持続可能な町をつくる取り組みをしています。</p> <p>本戦略でも、鉄道路線の新設に向けた運動を続けることは重要としており、まちづくりは、短期的課題と中長期的課題をバランス良く取り組むべきであると考えます。</p>
6	企業誘致の推進について	（まちづくりの提案として）企業誘致が基本です。特に物流の集積地目指す、また、大消費地への対応として野菜工場などの誘致などともに住宅地との調整が課題。	<p>【松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）（案）への対応】 原案通りとします。</p> <p>【町の考え方】 本戦略では、松伏・田島地区産業団地とともに（都）東埼玉道路と（都）浦和野田線の整備も進んでおり、道路交通の利便性を活かした拠点づくりと町外からの企業誘致を推進することにより、町内に雇用の場を増やす取り組みをしています。「基本目標1 生活の柱となる働く場の確保」の「施策2 企業の支援と誘致」を進め、その取り組みの中で、ご意見を参考にさせていただきます。</p>

番号	意見内容		回 答
7	古くから川に囲まれた町の活かし方について	<p>(まちづくりの提案として) 首都圏釣り人のメッカを目指す。河岸の整備・川魚の養殖・川魚料理特産づくり。 ※水害への治水を基本とした河岸整備と魅力づくり。</p>	<p>【松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)(案)への対応】 原案通りとします。 【町の考え方】 本戦略では、人口減少を抑制するために、公共交通網を不便だと感じている20歳代の転出の抑制と、子育て環境を更に充実させ、ファミリー世帯の転入・定住の促進のための施策・事業を柱として推進することとしています。今後の取り組みの中で、ご意見を参考にさせていただきます。</p>
8	歴史的価値のあるものの掘り起こしや特産品との連携・話題づくりについて	<p>(まちづくりの提案として) 本町には歴史的価値が(あるものが)結構あると聞きますが、掘り起こし町の魅力作りに生かせないか、特産品との連携・話題づくり。</p>	<p>【松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)(案)への対応】 原案通りとします。 【町の考え方】 本戦略では、人口減少を抑制するために、公共交通網を不便だと感じている20歳代の転出の抑制と、子育て環境を更に充実させ、ファミリー世帯の転入・定住の促進のための施策・事業を柱として推進することとしています。今後の取り組みの中で、ご意見を参考にさせていただきます。</p>

番号	意見内容		回 答
9	高齢者施設の誘致や充実について	（まちづくりの提案として）首都圏近隣の地の利生かし、高齢者施設の誘致をする。高齢者施設の町づくり、高齢者が活用する文化施設・運動施設・趣味を生かせる施設などの充実など。	<p>【松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）（案）への対応】 原案通りとします。</p> <p>【町の考え方】 本戦略では、「高齢化が進展する中、まちの活性化のためには、高齢者の地域での交流と活動への参加が求められる」との認識により、「基本目標2 町や人がつながる魅力づくり」の「施策3 多世代交流の推進」を図ることとしています。その取り組みの中で、ご意見を参考にさせていただきます。</p>
10	高齢者雇用の確保について	高齢者雇用の確保についても町の活性化において必要なことではないか。	<p>【松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）（案）への対応】 原案通りとします。</p> <p>【町の考え方】 本戦略では、「基本目標1 生活の柱となる働く場の確保」の「施策1 労働環境の向上支援」として、魅力ある雇用の場づくりと勤労者の転入支援に取り組みます。また、「施策3 職住近接のまちづくり」として、企業誘致を進め、町内の雇用の場を増やすことに取り組みます。</p>